

# 令和元年度

## 橋本市まちづくりのためのアンケート調査 報告書



橋本市マスコットキャラクター  
はしぼう

令和元年 8月

橋本市 総合政策部 政策企画課

# 目 次

## I 調査の目的

### 調査の概要

- (1) 調査項目
- (2) 調査設計
- (3) 回収結果

## II アンケート結果

### 回答者の属性

- 満足度
- 重要度
- ポートフォリオ分析
- 自由記述

## III 使用した調査票

## I 調査の目的

本調査は人口減少や少子高齢化が進んでいる中で、市が取り組んでいる施策に対する満足度・重要度の調査を行い、市民の皆様のニーズを把握し、その結果をこれからの市政運営に反映させていくことを目的とする。

### 調査の概要

#### (1) 調査項目

##### ア 第2次橋本市長期総合計画における施策項目別満足度・重要度【9政策37項目】

基本目標	政 策		設問
ともに 創る	①	賑わいと活力を創出する地域産業づくり	3項目
	②	雇用の創出と就労環境づくり	2項目
	③	充実した情報整備と魅力的なまちづくり	2項目
ともに 守る	④	安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり	8項目
	⑤	豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり	5項目
	⑥	住みなれた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり	5項目
ともに 育てる	⑦	一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり	2項目
	⑧	妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり	4項目
	⑨	生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり	6項目

イ 区・自治会について

ウ 広報について

エ 公共施設の利用、使用料について

オ その他（自由記述）

#### (2) 調査設計

- ア 調査地域 橋本市全域  
イ 調査対象 橋本市在住の18歳以上の方  
ウ 対象者数 2,000人  
エ 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出  
オ 調査方法 郵送配布、郵送回収（郵送調査法）  
カ 調査期間 令和元年6月10日（月）～令和元年6月28日（金）

#### (3) 回収結果

- ア 有効回収数 668票  
イ 回収率 33.4%

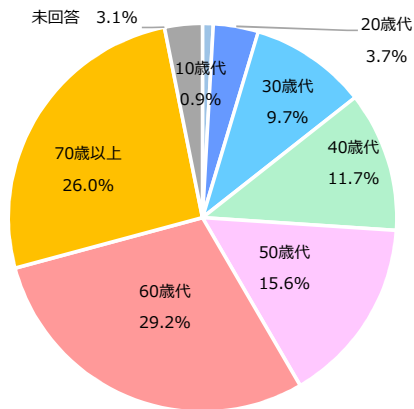


## II アンケート結果

### 回答者の属性

問1 あなたの年齢をお答えください。[令和元年6月1日現在]

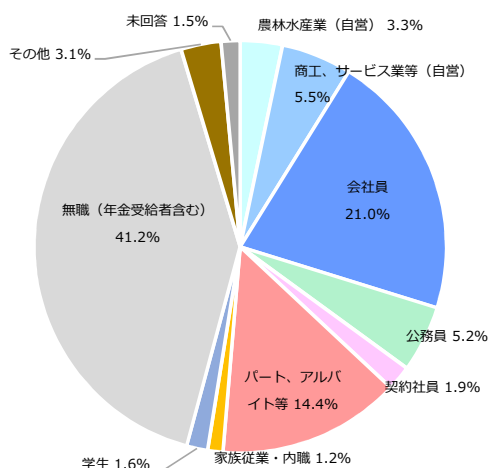
60歳代が最も多く29.2%、次いで70歳以上が26.0%となっている。



10歳代	6人	0.9%
20歳代	25人	3.7%
30歳代	65人	9.7%
40歳代	78人	11.7%
50歳代	104人	15.6%
60歳代	195人	29.2%
70歳以上	174人	26.0%
未回答	21人	3.1%
全体	668人	100.0%

問2 あなたの職業をお答えください。

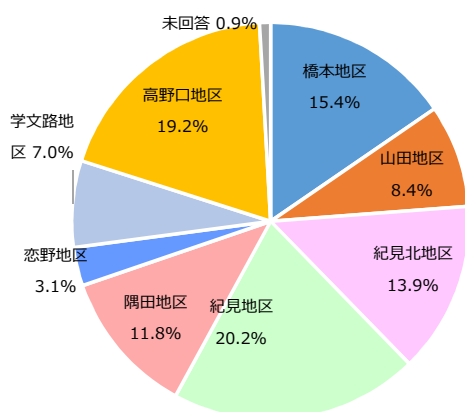
無職（年金受給者含む）が最も多く41.2%、次いで会社員21.0%となっている。



農林水産業（自営）	22人	3.3%
商工、サービス業等（自営）	37人	5.5%
会社員	140人	21.0%
公務員	35人	5.2%
契約社員	13人	1.9%
パート、アルバイト	96人	14.4%
家族従業・内職	8人	1.2%
学生	11人	1.6%
無職（年金受給者含む）	275人	41.2%
その他	21人	3.1%
未回答	10人	1.5%
全体	668人	100.0%

問3 あなたの住まいについてお答えください。

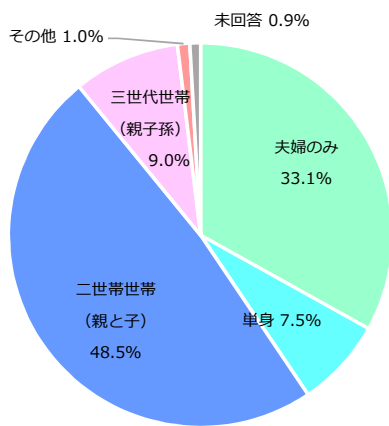
紀見地区が最も多く20.2%、次いで高野口地区が19.2%となっている。



橋本地区	103人	15.4%
山田地区	56人	8.4%
紀見北地区	93人	13.9%
紀見地区	135人	20.2%
隅田地区	79人	11.8%
恋野地区	21人	3.1%
学文路地区	47人	7.0%
高野口地区	128人	19.2%
未回答	6人	0.9%
全体	668人	100.0%

問4 あなたの家族構成についてお答えください。

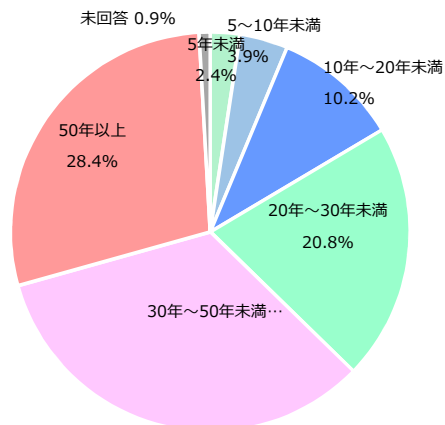
親と子の二世帯世帯が最も多く48.5%、次いで夫婦のみが33.1%となっている。



夫婦のみ	221人	33.1%
単身	50人	7.5%
二世帯世帯(親と子)	324人	48.5%
三世帯世帯(親子孫)	60人	9.0%
その他	7人	1.0%
未回答	6人	0.9%
全体	668人	100.0%

問5 あなたが橋本市にお住まいになって通算で何年になりますか。

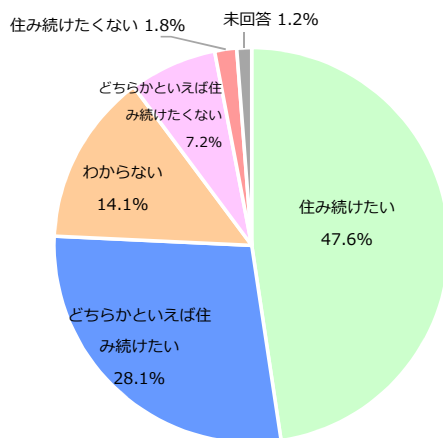
30～50年未満が最も多く33.4%、次いで50年以上が28.4%となっている。



5年未満	16人	2.4%
5～10年未満	26人	3.9%
10～20年未満	68人	10.2%
20～30年未満	139人	20.8%
30～50年未満	223人	33.4%
50年以上	190人	28.4%
未回答	6人	0.9%
全体	668人	100.0%

問6 あなたは、今後も橋本市に住み続けたいと思いますか。

「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計が75.7%で、「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」の合計が9.0%となっている。



住み続けたい	318人	47.6%
どちらかといえば住み続けたい	188人	28.1%
わからない	94人	14.1%
どちらかといえば住み続けたくない	48人	7.2%
住み続けたくない	12人	1.8%
未回答	8人	1.2%
全体	668人	100.0%

## 市の政策について

### ■ 満足度

市の施策・事業にどの程度満足しているかを把握するため、第2次橋本市長期総合計画における37の施策項目について「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で回答してもらった。満足度が30%を超える項目がない一方で、不満度が30%を超える項目は「地域公共交通」「雇用、就労、労働環境の整備」等であった。満足度と不満度の上位5項目は次のとおりである。

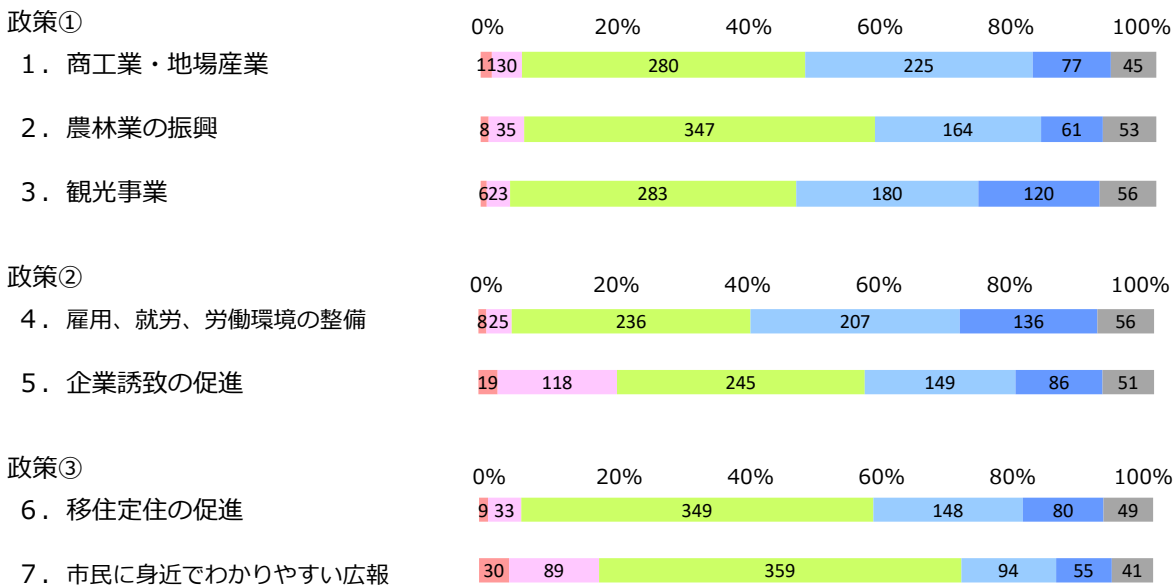
#### 【満足度の高い項目】

「消防・救急」	・・・28.0%
「ごみの減量・リサイクルの取組み」	・・・24.3%
「企業誘致の促進」	・・・20.5%
「健康づくり支援と医療体制」	・・・19.8%
「市民に身近でわかりやすい広報」	・・・17.8%

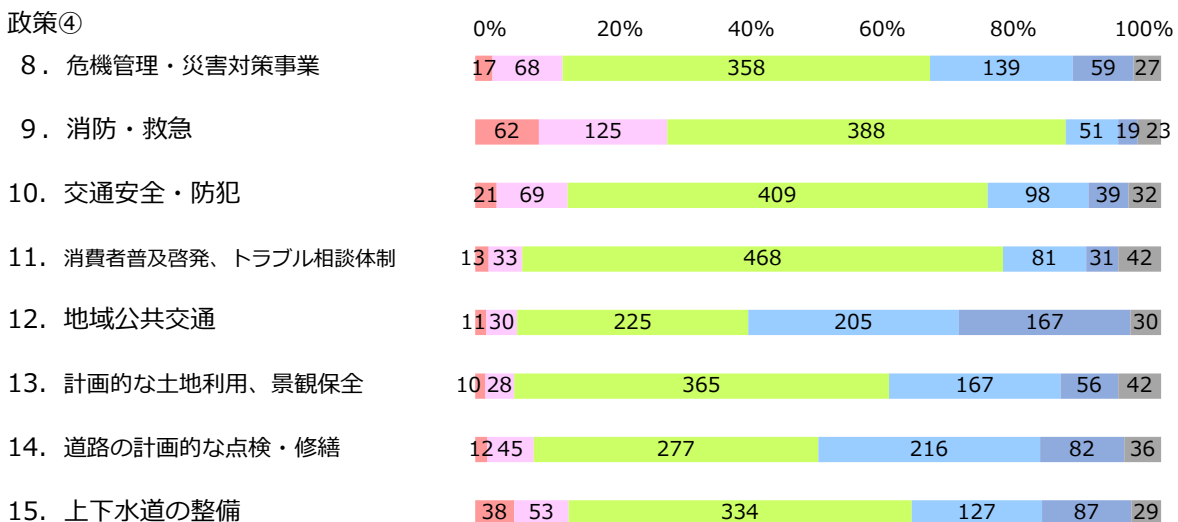
#### 【不満度の高い項目】

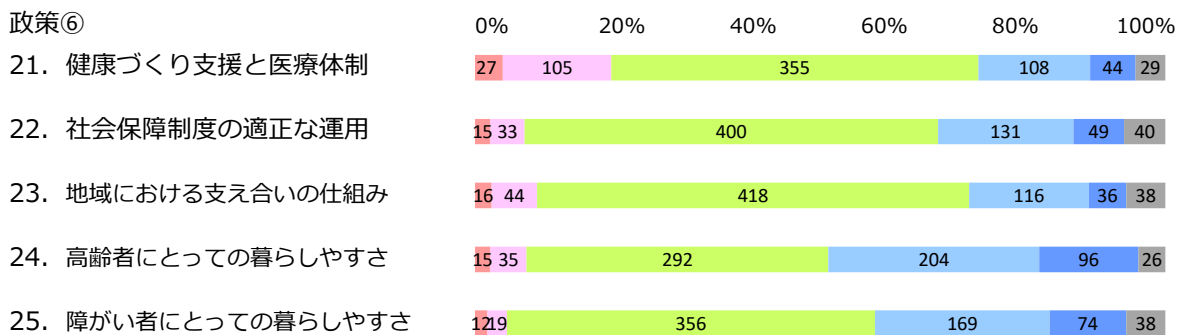
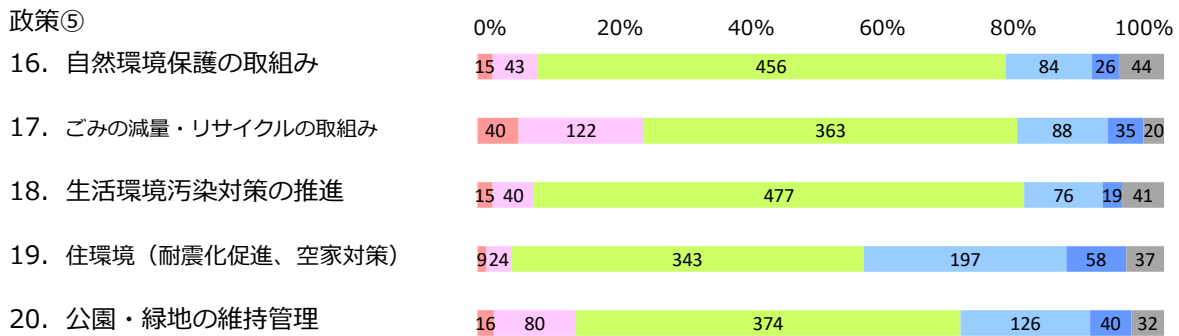
「地域公共交通」	・・・55.7%
「雇用、就労、労働環境の整備」	・・・51.3%
「商工業・地場産業」	・・・45.2%
「観光事業」	・・・44.9%
「高齢者にとっての暮らしやすさ」	・・・44.9%

### ともに創る

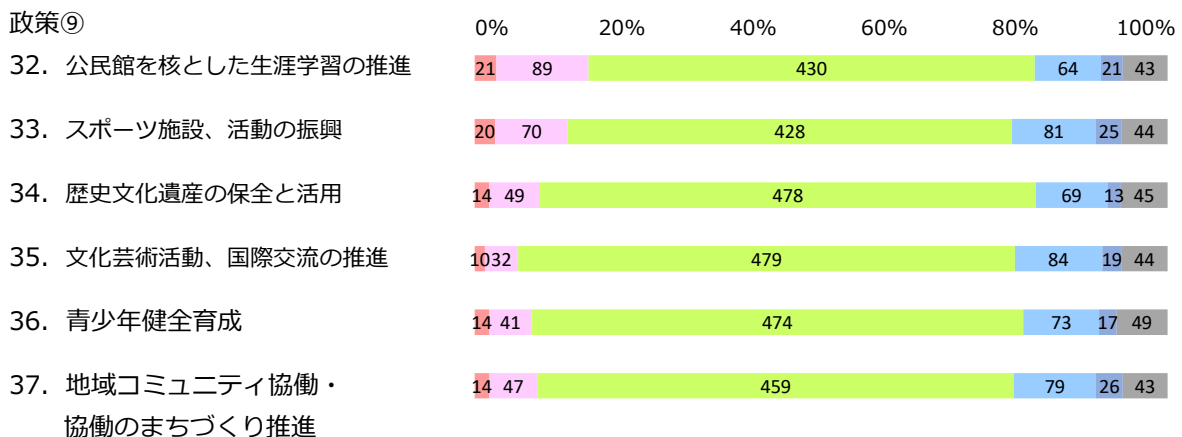
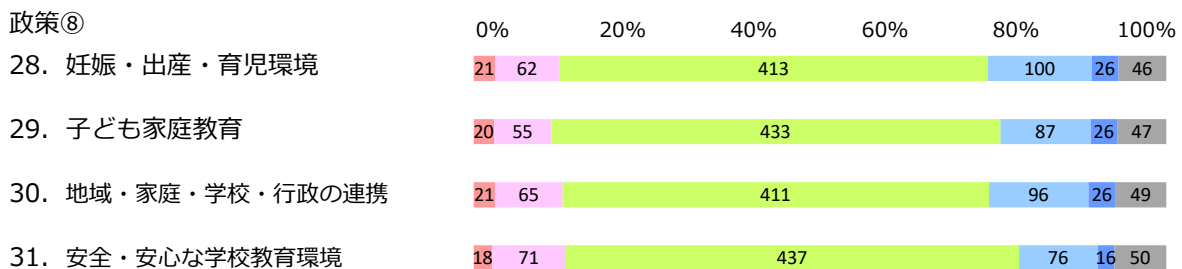
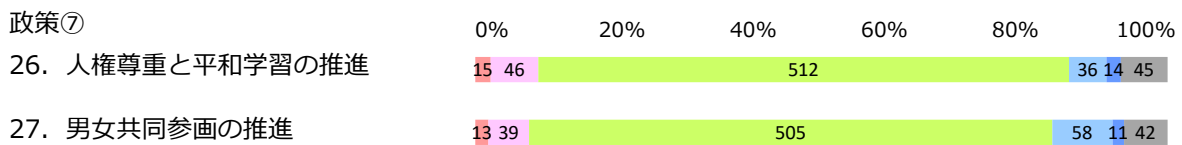


### ともに守る





ともに育てる



■重要度

市の施策・事業がどの程度重要と考えられているかを把握するため、第2次橋本市長期総合計画における37の施策項目について「重要」「やや重要」「どちらともいえない」「あまり重要でない」「重要でない」の5段階で回答してもらった。重要度の高い項目と重要でない項目の上位5項目は次のとおりである。

【重要度の高い項目】

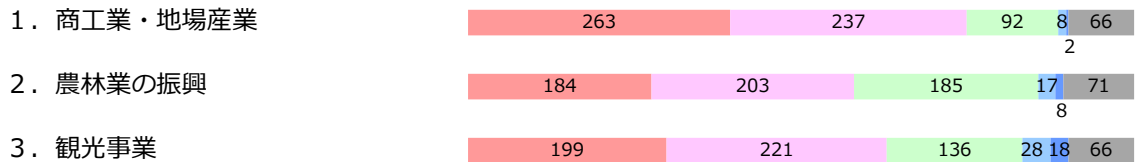
「危機管理・災害対策事業」	・・・82.9%
「消防・救急」	・・・81.6%
「雇用、就労、労働環境の整備」	・・・80.4%
「高齢者にとっての暮らしやすさ」	・・・79.5%
「交通安全・防犯」	・・・78.0%

【重要でない項目】

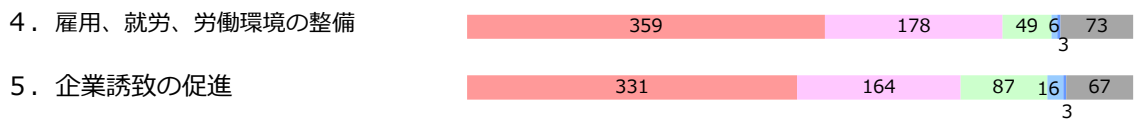
「文化芸術学校、国際交流の推進」	・・・7.8%
「公民館を核とした生涯学習の推進」	・・・7.0%
「観光事業」	・・・6.9%
「スポーツ施設、活動の振興」	・・・6.0%
「歴史文化遺産の保全と活用」	・・・4.8%

ともに創る

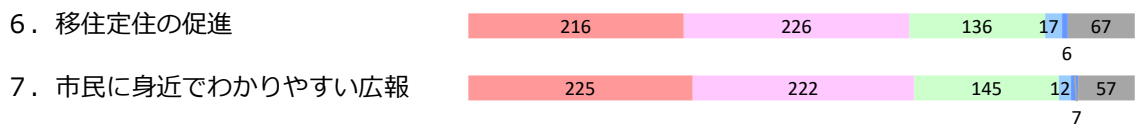
政策①



政策②

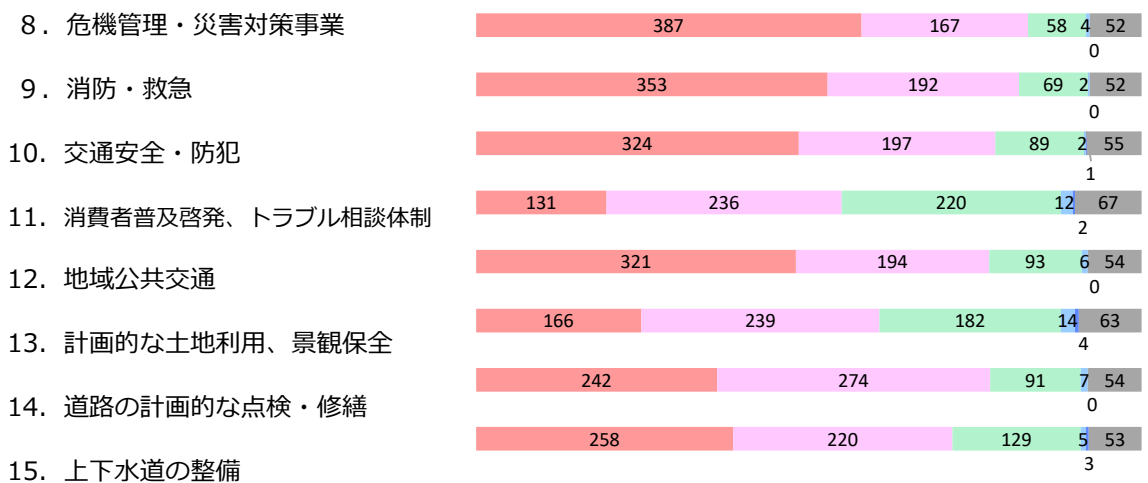


政策③



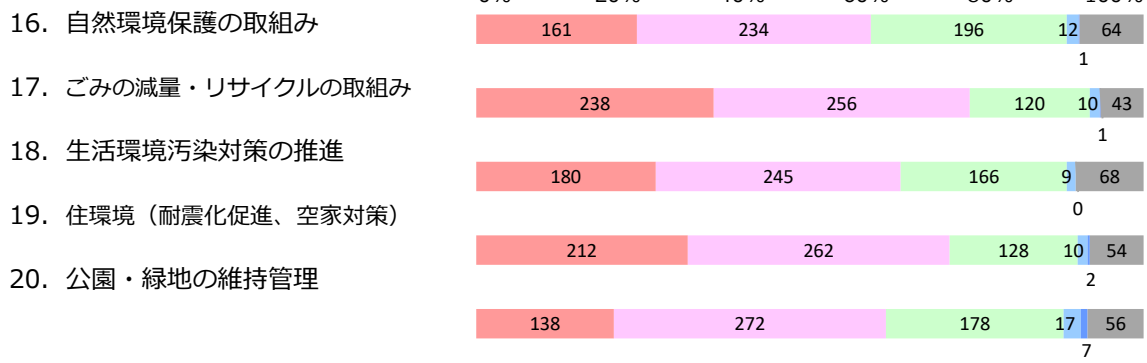
ともに守る

政策④

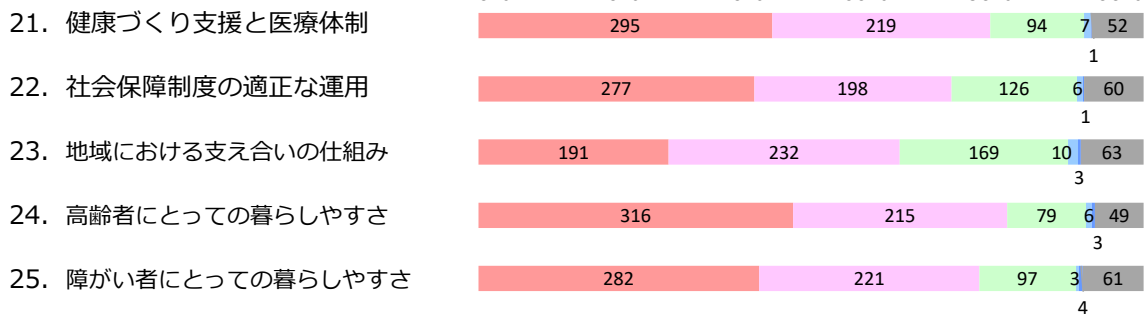




政策⑤

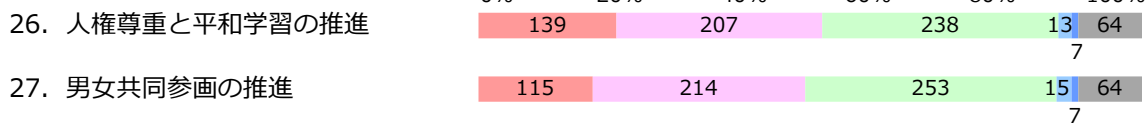


政策⑥

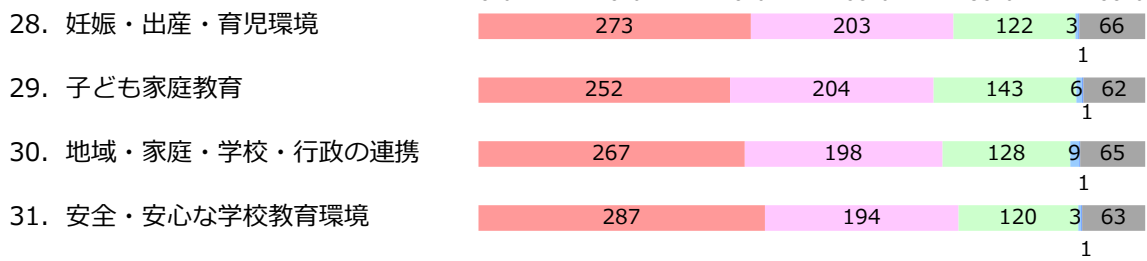


ともに育てる

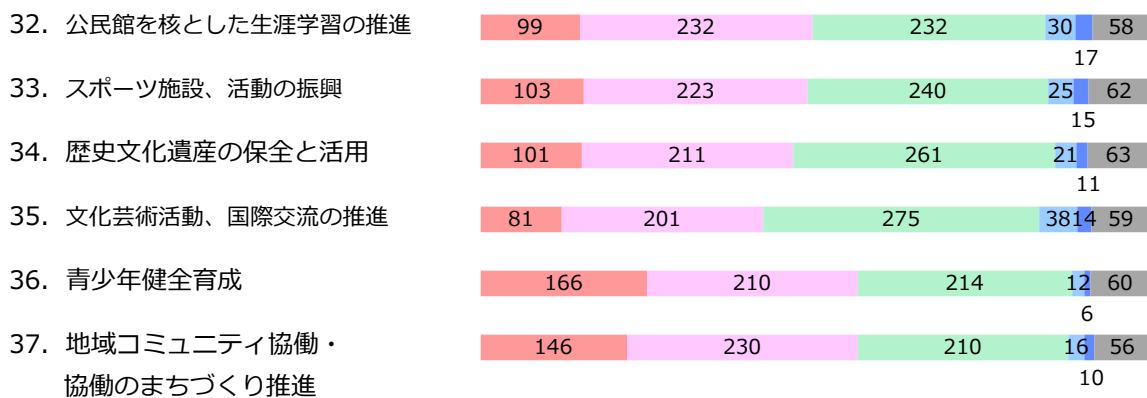
政策⑦



政策⑧

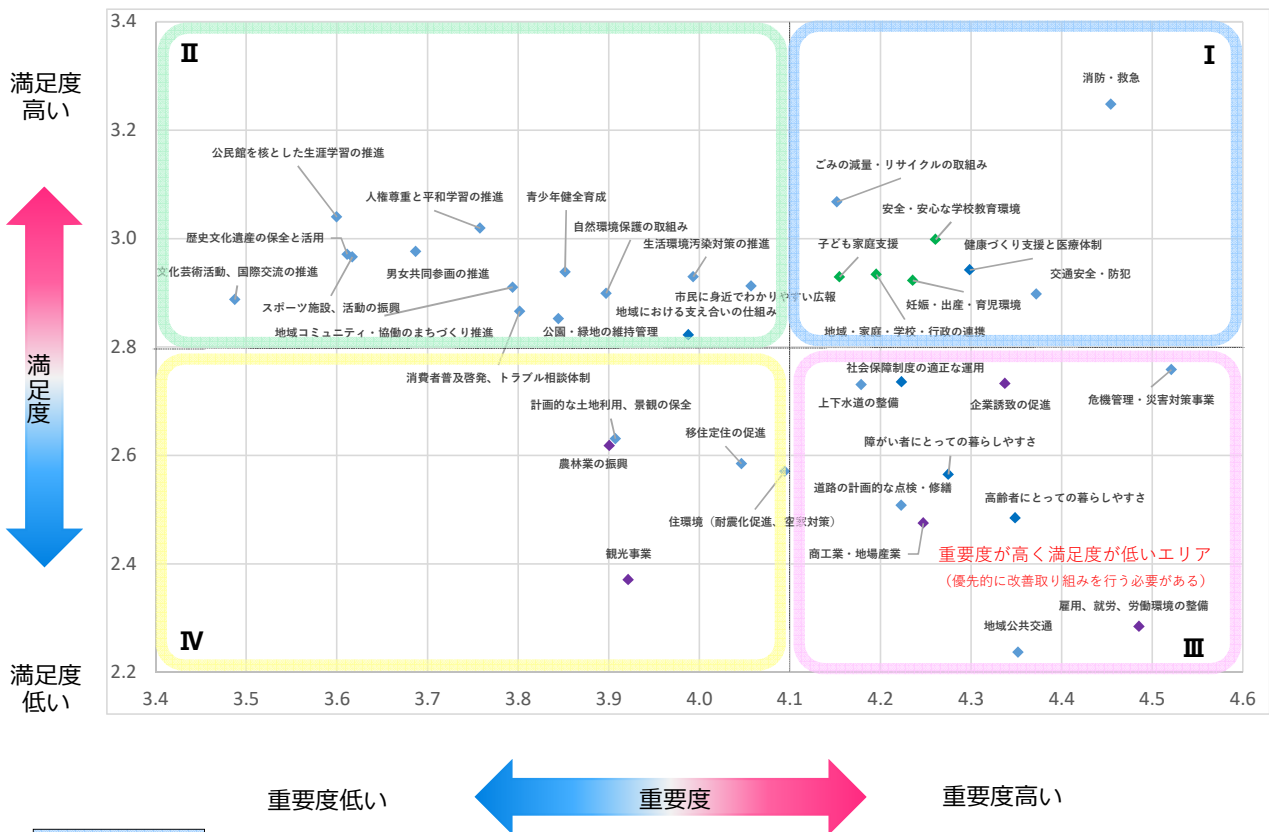


政策⑨



## ■ポートフォリオ分析

37施策項目の満足度の平均値と重要度の平均値を基に4つのエリアに分け、散布図として表わしたものである。



### I：継続推進

重要度、満足度ともに高くなっている。引き続き、満足度に対する高い評価が得られるよう、取組みの継続実施が必要である。

### II：要検討

重要度は低く、満足度は高くなっている。現状を維持しつつ、内容によっては見直し検討が必要である。

### III：重要課題

重要度は高く、満足度は低くなっている。最も課題のある施策項目であるため、今後、優先的に改善に取り組んでいく必要がある。

### IV：課題

重要度、満足度ともに低くなっている。現時点では優先度が低くなっていることから、必要に応じた推進・見直しが求められる。

今回の調査においては、満足度・重要度ともに高いのは「消防・救急」である一方で、「雇用・就労・労働環境の整備」「地域公共交通」「高齢者にとっての暮らしやすさ」「企業誘致の推進」「道路の計画的な点検・修繕」「障がい者にとっての暮らしやすさ」「商工業・地場産業」「上下水道の整備」「危機管理・災害対策事業」「社会保障制度の適正な運用」の10項目については重要度が高いものの満足度は低いため、優先的に改善取り組みを行う必要がある項目となっている。

また、図中の◆◆◆については、第2次橋本市長期総合計画における基本目標ごとに設定された「先行的に取り組むプロジェクト」に位置づけられた施策項目であり、概ね重要度が高いエリアに位置しているが、地域における支え合いの仕組みや農林業の振興、観光事業については全体の平均を下回っている。長期総合計画期間中、継続調査の実施、「選択と集中」の視点から効果検証を行い、今後の各施策の実施が求められる。